

脳梗塞の治療法解説

徳大病院が県民公開講座



最新の脳卒中治療について話す脳神経外科の兼松
准教授—徳島市の徳島大蔵本キャンパス大塚講堂

スであり、オンライン参加を含む約380人が脳卒中や心臓病の予防法などについて学んだ。

同病院の専門医や看護師ら6人が講演した。脳神経外科の兼松康久准教授は脳梗塞の治療法に血栓を溶かす薬剤を点滴する方法と「血栓回収」の2療法があると説明。このうち血栓回収療法は血管の再開通率が高いものの、実施可能な医療機関は県内に2カ所しかないとして「患者の症状を判断し、適切な病院に搬送できるシステムの構築が急がれる」と指摘した。

循環器内科の門田宗之特

任助教は心不全の兆候として▽急な体重増加▽動いた時の息切れ▽足のむくみ—を挙げ「異変を早めに捉えて医療機関を受診することで悪化を防げる可能性がある。迷ったときはいつでも相談して」と呼び掛けた。脳卒中や心臓病の予防に役立つ食事の取り方や運動も紹介された。

センターは循環器病患者の支援体制充実を図るため、2022年8月に病院内に開設。専門スタッフが予防や治療・暮らしに関する電話や来院者の相談を受け付けている。

(谷利彦)

徳島大学病院の県民公開講座「脳と心臓を守ろう」

(同病院脳卒中・心臓病等

総合支援センター主催、徳島新聞社共催)が12日、徳島市の徳島大蔵本キャンパ